

# お お う ら

教育目標： 進んで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

文責：校長 小玉 則子

活気ある新学期がスタートした矢先に、突然の「臨時休業」から10日余り、その間保護者の皆様には、学級担任からの電話による聞き取りや課題への支援等にもご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、本日、福島県教育委員会から、5月7日（木）以降の休業延長の要請を受け、いわき市においては、**5月7日（木）から5月10日（日）まで**、新たに臨時休業とする旨の通知がありました。本校においても、通知に基づき再度の臨時休業といたします。その後のさらなる延長につきましては、国及び県の動向により追って通知が来ることになりました。

「緊急事態宣言」下においては、まずは我々大人が感染予防に努め、子どもたちの命を守らなければなりません。コロナウイルスについては未知のことが多く、またその対処の難しさはこれまでに類を見ません。ですが、そのような中でも**外出の自粛、接触機会の削減、消毒、咳エチケットやマスクの着用、毎日の検温**等による体調管理など、できることはあります。子どもたちを感染から守るためにも、すべての人が力を合わせ行動し、この難局を乗り越えられればと願います。

また、医療関係や日常生活を支えてくださっている方々への感謝の気持ちはもちろんのこと、**偏見や差別などにより人権を傷つけるようなことはあってはなりません**、我々大人が子どもたちにしっかりと伝えなければと考えます。改めまして、ご家庭においてもご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## ○福島県の相談専用ダイヤル

024-521-7871 (8:30～21:00 平日のみ)

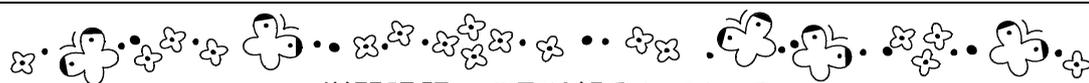
## ○いわき保健所帰国者・接触者相談センター

0120-567-747 (24時間・毎日)

## ○一般相談専用ダイヤル

0120-567-177 (平日8:30～21:00、土日祝日8:30～17:15)

自宅においても、お子様やご家族の**毎朝の検温**や体調等にご注意ください。お子様やご家族に発熱の症状が続いたり、心配な点等があったりした場合には、**かかりつけ医に相談し指示を仰いでください**。また、新型コロナウイルスに係る診断や指示等を受けた場合には、**学校へもご連絡**をお願いいたします。



## 学習課題への取り組みについて

良い体調を維持するために、また学校が再開したときにすぐにリズムを戻すためにも休業中に家庭でどのように過ごすかはとても大切です。起きる時間、食事の時間、寝る時間については、これまで同様「早寝・早起き・朝ご飯」をお願いいたします。

1. 学校ホームページに掲載しました「学習課題一覧」をご覧ください、お子様と一緒に学習状況の確認をお願いします。
2. 復習的な課題に加え、予習的な課題も出ています。難しい部分もあるかもしれませんが、早く課題を終わらせるのではなく、文字の書き方も含め、じっくり丁寧に課題

に取り組めたかという点でも確認をお願いします。

3. 学校からの課題が終わりましたら、インターネットの環境が必要とはなりますが、ホームページでご紹介した各種学習支援コンテンツに、お子様と一緒に取り組んでみてはいかがでしょうか。

### 学校行事についての確認(4月27日現在)

- 5月 8日(金) PTA合同専門委員会 中止  
→ 今後の状況により、各委員会ごとに実施予定
- 5月16日(土) 運動会 延期によりお休み  
→ 今後の状況を見て、運営の工夫をし実施できるよう検討中
- 5月18日(月) 学校が再開していれば登校日・お弁当
- 5月21日(木) 学校評議員会 実施  
→ 参集者 評議員5名予定
- 5月25日(月) 家庭訪問は学級担任による自宅確認のみ(在宅不要)  
~29日(金) → 臨時休業中に確認済み
- 5月30日(土) PTA美化活動中止  
→ PTA 三役会・秋祭り実行委員会は後日連絡

## 自宅で過ごす中で



この臨時休業中のGWは、ご家族で過ごす時間が長くなるかと思えます。また、思うような外出等も難しいことから、ご家庭で、ぜひ子どもたちに家のお手伝いをさせたり、ご家族で一緒に何か活動をしたりしていただければと思います。その際に、次のようなことに意識して声かけをしてみてください。「家族は自分のことをわかってくれている、見ていてくれる」そんな子どもたちの思いは、きっと、今後の子どもたちの心の支えになります。お願いばかりで恐縮ですが、どうぞよろしく願いいたします。

- お子様が「自分のよさ」を自覚したり、目標の実現を意識したりできるような声かけをする。
- ちょっとした変化に気付いて認める。
- 結果だけでなく、頑張った過程を認める。
- 自分の成功体験や失敗体験を話す。会話を大切にする。
- 他のお子さんとは比べないように気をつける。



